

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第10号 令和7年1月7日(火)

『未来を拓く 自己肯定感をもった生徒の育成』

～自立と共生を目指せる 西志津の生徒～

発行責任者 岩崎 徹(文責 野田 創)

生徒数 1年131名 2年152名 3年161名 計444名

『蛇蛻蝟翼』

校長 岩崎 徹

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は本校の教育活動に、温かいご支援とお力添えをいただきありがとうございました。本年もより一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。今年には昭和100年にあたり、干支は「乙巳(きのとみ)」。乙(きのと)は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味をもっているそうです。また巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そして、「巳」(み、し)という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味をもっています。そのため「乙巳(きのとみ)」の年は、『再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく』年になると考えられるようです。また、中国の『漢書 律曆志』では、巳は「止む」を意味する「巳」(い)で、草木の成長が極限に達した状態を表すと解釈されており、中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しており、十二支の6番目に、草木が成長しきった状態を表す「巳」がくるので、これまで努力してきたことが実を結び始める年だといわれてもいます。そして、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになるといわれています。

同じ乙巳の年の出来事として、645年乙巳の変(いっしのへん):中大兄皇子・中臣鎌足らが蘇我入鹿(蘇我氏)を宮中にて滅ぼした政変。その後、中大兄皇子は大化の改新を断行し、律令制の基盤を構築。1185年源平争乱終結:鎌倉幕府の出発点となる守護地頭を設置。1605年徳川家康引退:実質的な戦国時代の終焉。1905年日露戦争終結:国力が充実し後の時代へ動いた。歴史的に乙巳の年は、それぞれ一定の段階に達し新たな段階に進む、時代の画期になった事柄が起こり、いずれも終りと始まり、到達点と出発点のような面があることがうかがえます。即ち、今年には変化の年なのかもしれません。株式相場には「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ。戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」との格言があります。巳年の相場は俗に上昇相場とされています。これまでの努力や準備が実を結び始める時期とされる今年、良い変化になるために、いつも以上に周囲に目を配り、周到に日々を過ごし、適切な選択をし確実に対応することで、成長と結実を手にしたいものです。

さて、西志津中学校は1月7日(火)に始業を迎え、3学期をスタートさせました。保護者と地域の皆様のおかげで、大きな事故なく無事に始業を迎えることができました。3学期は3か月足らずとたいへん短いにもかかわらず、年度の締めくくりであると同時に、新しい始まりのための準備の時期でもあり、とても重要な時期であるといえます。特に3年生は進路決定を迎え、心中穏やかではないのではないかと推察します。

大リーグ史上初ホームラン50本と50盗塁「50-50」を達成し、指名打者に専念した選手として初であり、2年連続3回目の満票でMVP受賞の大谷翔平選手は、高校時代寮の部屋に「真剣だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言いつばかり」と貼っていたそうです。

これは戦国武将武田信玄のことばの一節です。

「実力の差は努力の差、実績の差は責任感の差、人格の差は苦勞の差、判断力の差は情報の差、真剣だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言い訳ばかり、本気であるから大抵のことはできる、本気であるから何でも面白い、本気でしているから誰かが助けてくれる。」

そして、高校時代の恩師が教えてくれた言葉「先入観は可能を不可能にする」を今でもはっきりと覚えているそうです。

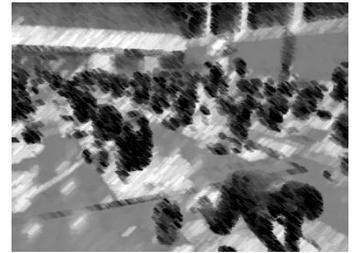
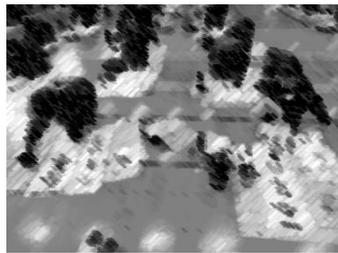
3年生のみならず、大事な場面こそ、うまくいかなかったときのことが、頭から離れないのだと思います。それが、緊張感の高まりにつながるのだと思います。そんな時には大谷選手の言葉を思い出したいものです。

全ての学年の生徒にとって、とても重要な意味を持つ3学期。「認め合うこと」「想像力を働かせること」「挑戦すること」についてはもちろんのこと、自分のなりたい自分に向けて挑戦する西中生を、温かな気持ちで寄り添い、「やればできる」が感じられる支援を今年も全力で取り組んでまいります。保護者、地域の皆様とは、一人一人の生徒の成長を支援する同志として、対話を大切に今年も歩んでまいりたいと願っておりますので、本年もよろしくお願いいたします。

書き初め練習会

12月に入り、どの学年も体育館に全員が集まって、書き初め練習会を行いました。ステージの方向に向かって、ただひたすらに書く。

いつもは、人が集まるとワイワイとにぎやかになることが多いのですが、この日はどの学年も、シーンと静かに集中して取り組みました。100人を超える集団が、一つのことに一生懸命に取り組む様子は、まさに壮観。一人の力では為しえない、大きな力を感じました。



一月の予定	1日	水	元日 冬季休業は1/6(月)まで	17日	金	1・2年佐倉市学習状況調査
	7日	火	全校集会 午前日課10:40下校	20日	月	学年会議
	8日	水	弁当持参 3年実力テスト	22日	水	全校評議会
	9日	木	給食開始 避難訓練 セクハラ体罰アンケート 企画会議	25日~26日 白地図資料展(志津コミュニティセンター)		
				29日	水	1・2年定期テスト範囲発表
	13日	月	成人の日	30日	木	新入生保護者説明会 思春期子育て講座 全校委員会
	16日	木	職員会議 私立入試前事前指導			
17日	金	私立高校入試集中日 3年特別日課				

1月のスクールカウンセラーの出勤日は10日(金)、20日(月)、27日(月)です。

1月の学校徴収金の振替日は9日(木)、再振替は23日(木)です。口座残高の確認をお願いします。

芸術鑑賞会 R6/12/3 (Tue)



西志津中学校では、PTA活動の一環として「芸術鑑賞会」を実施しています。文化委員の方が、昨年度のアンケートを基に今年度の実施団体を選定し、準備を進めてくれました。

今年度は、「神技!中国雑技と伝統芸能」、いわゆる中国雑技を披露してくれました。

当日のプログラムは…

・二人アクロバット ・変面 ・壺回し ・歩歩高昇 ・鞭芸 ・ハットジャグリング ・古老中幡 ・椅子倒立

変面は、一瞬の間にお面の色やデザインが変わる技で、初めは何が起きているかわからなかった生徒も変化のスピードの速さにびっくりしていました。また、鞭芸ではK先生が西中代表として参加。どんどん小さくなっていくターゲットを持つ、ハラハラドキドキの演出を見せてくれました。ハットジャグリングでは、各学年の代表者が、リズムに合わせて帽子をくるっと回してかぶる芸に挑戦。3年生のEくんは、会場を大いに盛り上げてくれました。最後は、ステージの天幕の高さ程の場所で、絶妙なバランスを取る古老中幡や椅子倒立で見せ場を作ってくれました。

生徒のアンケートからは、「面白かった」「すごかった」という声が届き、多くの生徒がこのような機会を作ってくださったPTAの方、技を見せてくれたひょうげん教育の方に感謝していました。



救急法講習

各学年の保健体育の授業の一環として、救急法講習を行いました。志津南消防署から3名の署員の方を招いて、各学年ごとに実施しました。

西志津中学校には、AED(自動体外式除細動器)があります。心室細動を起こし、正常に血液を送ることのできなくなった心臓に、電氣的刺激を与えることで除細動を行うものです。

AEDを使用することができれば、誰かの大切な生命を救うことができます。そのためには、正しい知識を持ち、適切に使用できなければなりません。

当日はどの学年も保健委員が中心となって、消防署員の方の話をよく聞いて取り組んでいました。おそらく、多くの生徒にとって、AEDやレサシアン(心肺蘇生用のマネキン)を使うことは初めてで、大変貴重な学習となったと思います。